

1.1 「知的財産法」とは何か？

- ・「知的財産」 = 「形のないもの(無体物)」
(⇔ 「形のあるもの(有体物)」)
- ・「物」には「形のあるもの」と「形のないもの」がある
⇔ 「形のあるもの」という側面と、「形のないもの」という側面がある
... ということか？
- ・「知的財産法」は、このような「知的財産」を守るための制度である
... なぜこのような制度が必要なのか？ (→1.5)

(写真1) 知財学習セミナー

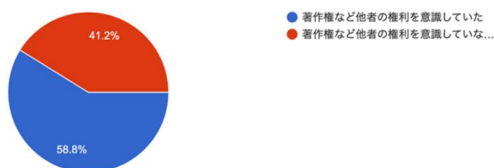


(写真2) 知財学習セミナー

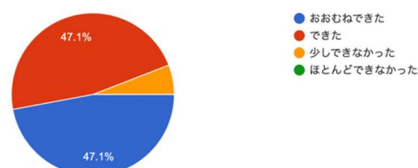


(写真3・4・5) ユニバーサルデザインワークショップ

知財学習実施前 「知的財産」という言葉を知っているかにかかわらず他者の権利を意識していたか
17件の回答



知財学習実施後 知的財産について理解することができたか
17件の回答



自助具制作を通して、創造することの楽しさを感じたか
17件の回答



自助具制作を通して、創造することの楽しさを感じたか
17件の回答



(図) 事前・事後アンケートより一部抜粋

ユニバーサルデザインを考える・作る

シリコンテープを活用した自助具制作のワークショップを開催。実施にあたり、ニッシリ株式会社に協力を依頼した。介護実習を通して気づいた課題についてグループで共有し、どんな自助具があったらよいかアイデアを出し合い、ユニバーサルテープを使って制作をした。既製品の自助具と違い、本当にその人に合った自助具にできることで、より自立支援や生活の質の向上につながる。ICTや介護DXなどデジタル化が進むなかで、アナログの良さを実感することができた。また、介護職員の創意・工夫で利用者の生活の質を高めることができることを体験的に学ぶことができたことが特に良かった。



(写真) ユニバーサルで制作した自助具を実際に利用者が使用

令和 7 年度 実践事例報告書

学校番号	福 02	学校名	山形県立鶴岡中央高等学校	担当教員名	飯澤菜美恵
ねらい	<input checked="" type="checkbox"/> キャリア教育・ビジネス体験 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒の能力育成（創造性・主体性・表現力等） <input type="checkbox"/> 指導体制の構築・教員のスキル向上 <input type="checkbox"/> その他（ ）		<input checked="" type="checkbox"/> 知的財産や社会制度への理解促進 <input checked="" type="checkbox"/> 外部との連携強化・地域産業への理解促進 <input type="checkbox"/> 学校の特色や専門性の強化・生徒募集		
関連法	<input checked="" type="checkbox"/> 特許・実用 <input checked="" type="checkbox"/> 意匠 <input checked="" type="checkbox"/> 商標 <input type="checkbox"/> その他（ 著作権 ）				
年間の取組内容		対象者・実施機会等	該当する要素の番号	知財学習の要素	
①	知財について理解する	1 年次総合学科 2,3 年次総合学科社会福祉系列 (外部講師による講話)	6,7,12,13	創造	<input checked="" type="checkbox"/> (1)創造性を鍛える
②	知財について理解する	3 年次総合学科社会福祉系列 2 名 (発明体験ワークショップ)	1,3,7,9		<input type="checkbox"/> (2)情報を利用する能力
③	創造性を鍛える、観察力を鍛える 「ブランディングの基本」	3 年次総合学科社会福祉系列 (外部講師)	1,3,4		<input checked="" type="checkbox"/> (3)発想・技術を表現する能力
④	社会で知財を活用する知恵と行動力を養う 「フレイル予防体操の歌」作詞作曲	3 年次総合学科社会福祉系列 (音楽健康指導士の指導による)	1,3,4,7,10,11		<input checked="" type="checkbox"/> (4)観察力を鍛える
⑤	社会で知財を活用する知恵と行動力を養う 「フレイル予防体操の歌」を用いた実践活動	3 年次総合学科社会福祉系列	1,3,4,7,10,11		<input type="checkbox"/> (5)技術を体系的に把握する能力
⑥	社会で知財を活用する知恵と行動力を養う 「フレイル予防の動機づけ支援制作物」	3 年次総合学科社会福祉系列	1,3,4,7,10,11	保護	<input checked="" type="checkbox"/> (6)商品や社会とのつながりの理解
⑦	社会で知財を活用する知恵と行動力を養う 福祉学習の実践（スライドを作成し、発表）	2,3 年次総合学科社会福祉系列	1,3,4,7,10,11		<input checked="" type="checkbox"/> (7)保護・尊重する意識
⑧	社会で知財を活用する知恵と行動力を養う 「介護の魅力動画制作」	2 年次総合学科社会福祉系列	1,3,4,7,10,11		<input type="checkbox"/> (8)技術等と権利の対応関係を把握する能力
⑨	社会で知財を活用する知恵と行動力を養う 「認知症の VR 研修及び VR 事業部設立について」	2,3 年次総合学科社会福祉系列 (外部講師による講話)	1,3,4,11		<input checked="" type="checkbox"/> (9)手続の理解
⑩				活用	<input checked="" type="checkbox"/> (10)権利を活用する能力
⑪					<input checked="" type="checkbox"/> (11)産業や経済との関係性の理解
⑫				知識	<input checked="" type="checkbox"/> (12)制度の学習
⑬					<input checked="" type="checkbox"/> (13)専門家、資格制度に関する知識
取組目標の 達成見込	概ね達成（7 割以上）		その理由 具体的な数値を用いて 記載をお願いします	1 年間を振り返ってみて、知的財産の理解度（5 段階）を 4 月当初が「1」とすると現在はどこに位置するか問いに対して、「5」10%、「4」40%、「3」50%と回答している。身の回りの製品やサービスを見る際に、95%の生徒が知的財産の視点を意識するようになったと回答した。	
取組の状況 具体的な数値を用いて 記載をお願いします	知財学習は、福祉分野においては関係が少なく感じている生徒も少なくなかった。しかし取組後は「知的財産について、さらに学びたいと思うか」という問いに「とてもそう思う 68.4%、まあそう思う 26.3%」と答え、関心が高まったことがわかる。また、「介護の魅力発信動画作成や、作詞・作曲、フレイル予防体操を通し、私たちに知財があり、作り出せることについて改めて理解することができた。」と具体的な活動を通した理解の定着がみられた。				
年間の取組のうち、最も重視した取組又は成果のあった取組等について					
取組番号・内容	①知財について理解する（外部講師による講話）④「フレイル予防体操の歌」作詞作曲と実践				
成果内容	「自分たちの身の回りには知的財産であふれており、知的財産を意識すると、作った人を大切に、正しく使おうと思える」「自分たちで知財を作ることで、知財はより身近なものであることの意識を持つことができた」と振り返っている生徒が多く、講義を通した基礎学習からの実践活動の効果がうかがえた。				
生徒・学生に見られた変化	福祉職、医療職の仕事に就きたいため、知財と関わりを感じていない生徒が多かったが、「4 月時点では知的財産や特許などの言葉も知らなかったが、現在は言葉の意味だけでなく、一人ひとりの思いやアイデアが形になった物であることや、知的財産の保護の必要性などを理解することができた」と感じている。				
その根拠	「今年度取り組んだ活動の中で、知的財産との関わりを学ぶことができた講義や活動はどれか」という問いに対して 60%の生徒が「フレイル予防体操の歌」作詞・作曲と実践活動をあげ、50%の生徒が外部講師による講話をあげている。				
課題・反省点	・本事業への参加初年度のため、活動内容、進め方、時期等すべての面で模索しながら進めてきた 1 年であった。その都度、事前アンケートやふりかえりを実施したが、用意した質問や選択肢が適切なものであったか疑問を感じる時があった。				
今後の展望	学びのインプットだけでなく、実践を通したアウトプットの重要性を実感したため、1 年間を見通した計画、活動内容で実施できるよう教員自身も研修し、校外と連携していきたい。また、校内における本事業への協力体制を構築していきたい。				

本資料内の写真、イラスト、引用文献等の承諾が必要なものにつきましては、権利者の承諾を得ていることを申し添えます。

本報告書の内容は、各校での知財学習の取組全体を記載しているものであり、本事業の活動経費支援を利用していない取組を含む場合があります。



ブランディングの基本講座の様子

<写真・図表等掲載欄>



フレイル予防体操の実践の様子

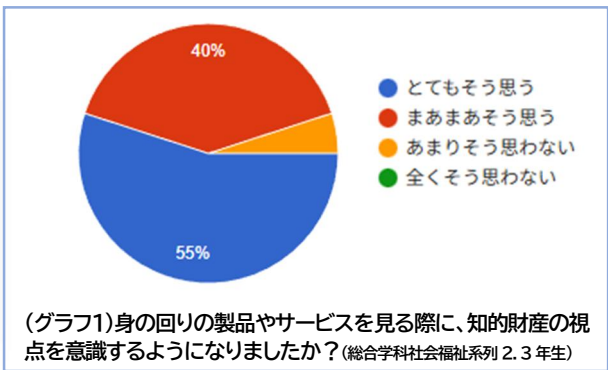


側面

フレイル予防体操継続のための、
動機づけ支援の制作物



作成した歌詞（一部）



【生徒の感想】

- ・介護の魅力発信動画作成や、作詞・作曲、フレイル予防体操を通し、私たちに知財があり、作り出せることについて改めて理解することができた。
- ・知的財産はあまり身の回りにはないと感じていたが、人々の知的創造活動の成果物はすべて知的財産であると言う事を知ったので、身の回りの知財を探してみたいと思った。また、自分も知財の創造者になれるように日々の気づきを大切にしたいと感じた。

(特記すべき取組と成果) 「フレイル予防体操の歌」の作詞作曲とそれを用いたの取組について

「フレイル予防体操の歌～TSURUOKA～」

総合学科社会福祉系列では、「いきいき高齢者元気アッププロジェクト」として、高校生と地域と一緒に介護予防体操の研究・普及活動を行っています。平成27年度に「介護予防体操の歌～TSURUOKA～」を作詞作曲し、その歌に合わせて体操を考え、実践活動を引き継いでいます。令和7年度は、音楽健康指導士の指導を仰ぎながら鶴岡の魅力の詰まった新たな歌を作詞、作曲しました。

フレイル予防は、日々の積み重ねと継続が大切です。動機づけ支援のために何ができるか考え、トイレットペーパーの包み紙やポケットティッシュにデザインし、モチベーションを維持できるよう制作しました。高校生と一緒に体操した後、家庭での体操を継続していただくとよう声掛けを行いました。

トイレは毎日使用する場所です。目にとまりやすくモチベーション向上に好評です。制作の依頼先は生徒の介護実習施設でもある障がい福祉サービス事業所です。



音楽健康指導士による講座